

2021.07

高校1～3年生の保護者対象

2021年 高校生の進路に関する保護者調査

2021年7月実施 調査報告書



Copyright(c) Mynavi Corporation.2021 all rights reserved

1. 調査目的

高校生の保護者の動向、考え等について現状を把握し、社会に情報提供を行うことを目的とする。

2. 調査方法

メールおよびDMで調査告知を行い、Webフォームに回答

調査回収期間

2021年7月16日（金）～ 7月18日（日）

4. 調査領域

全国

5. 調査対象者

回答時に40歳以上で、長子として高校生を養育する保護者

6. 有効回答者数

1200名（Web調査）

参考

有効回答者内訳：

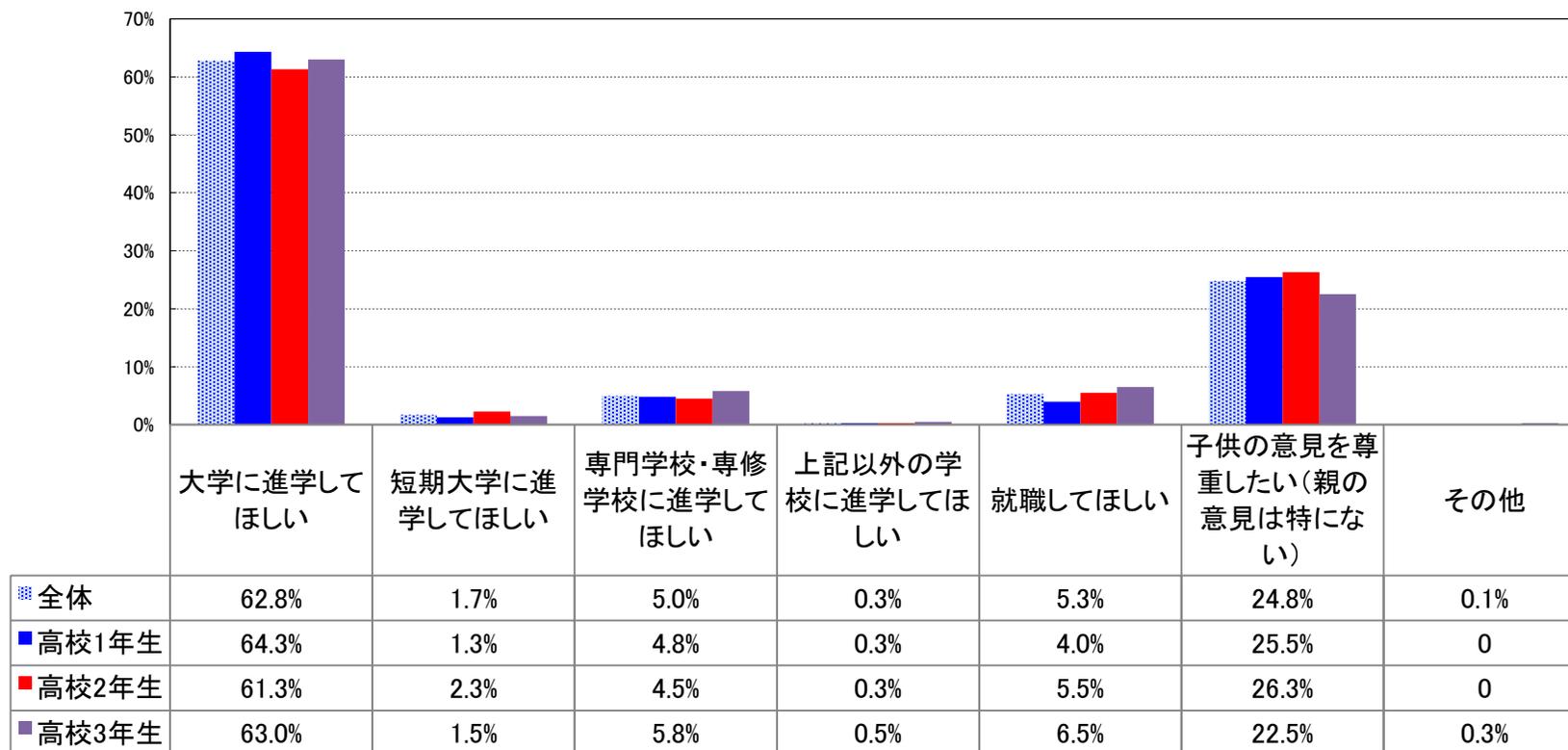
回答者性別/ 子の学年性別	高校1年 男子	高校2年 男子	高校3年 男子	高校1年 女子	高校2年 女子	高校3年 女子
男性	100	100	100	100	100	100
女性	100	100	100	100	100	100

【1】子どもの進路に関する意向や、認識の状況	-----	4
子どもの進路について、親（あなた個人）としての意見（子どもの進路に対する保護者の意向）	-----	5
子どもと進路や将来の夢（つきたい職業ややりたい仕事）について話す機会の有無	-----	6
現在の子どもの将来の夢（やりたい仕事・つきたい職業等）に関する認識	-----	7
子どもが現状進路として想定していそうだと思うもの	-----	8
【2】家庭での進路支援・学校選びに関する関わり	-----	9
子どもの進路支援について、ご家庭の状況に最もあてはまるもの	-----	10
子どもの進路支援について、保護者(配偶者様含む)のかかわり方としてこれまでに実施したことがあるもの	-----	11
子どもが通っている「高等学校」の進路指導について、満足度	-----	12
子どもの進学先を検討するにあたって、話を聞いてみたい人	-----	13
子どもの進学先学校を選ぶポイント	-----	14
今、子どもの進路選択や学校選びについて困っていることや悩んでいること	-----	15
子どもの進路選択・学校選びについて、欲しい情報	-----	16
子どもの進路選択・学校選びについて、欲しい機会	-----	17
進路決定に関する支援として、「取り組んでいる」もしくは「取り組む予定であること」	-----	18
【3】情報収集について	-----	19
子どもが取り寄せた上級学校（大学短大専門等）の紙冊子【学校案内等】の閲覧状況	-----	20
子どもの進学先候補として、上級学校（大学短大専門等）のWEB情報（学校ホームページやSNSでの投稿等）の閲覧状況	-----	21
インターネット、学校が発行した紙冊子（入学案内・パンフレット等）以外に、 子どもの進学先候補について情報収集や学校名を新たに知る機会	-----	22
【4】教育資金について	-----	23
子どもの教育資金の準備予定（進学先の学費のために利用する予定のもの）	-----	24
子どもと進学先の学費についてこれまでに話をした機会の有無	-----	25
具体的な話の内容（前問で「子どもと進学先の学費について話をしたことがある」と回答した方のみ聴取）	-----	26

子どもの進路に関する意向や、 認識の状況

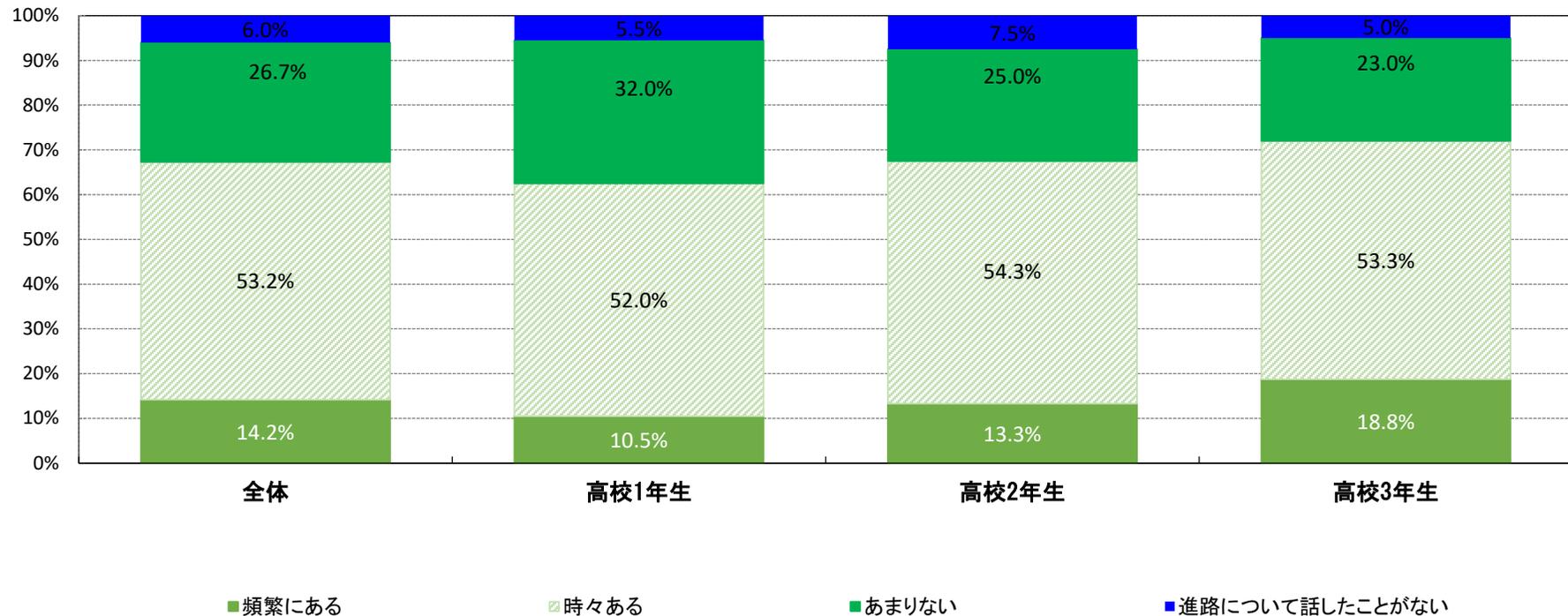
回答のあった保護者の6割は、「大学に進学してほしい」と回答し、高校生の保護者の進路意向の大勢は「大学への進学」であることがわかる。「子どもの意見を尊重したい（親の意見は特にない）」も全体の4人に一人程度と比較的高い結果が出た。

子どもの進路に対する保護者の意向



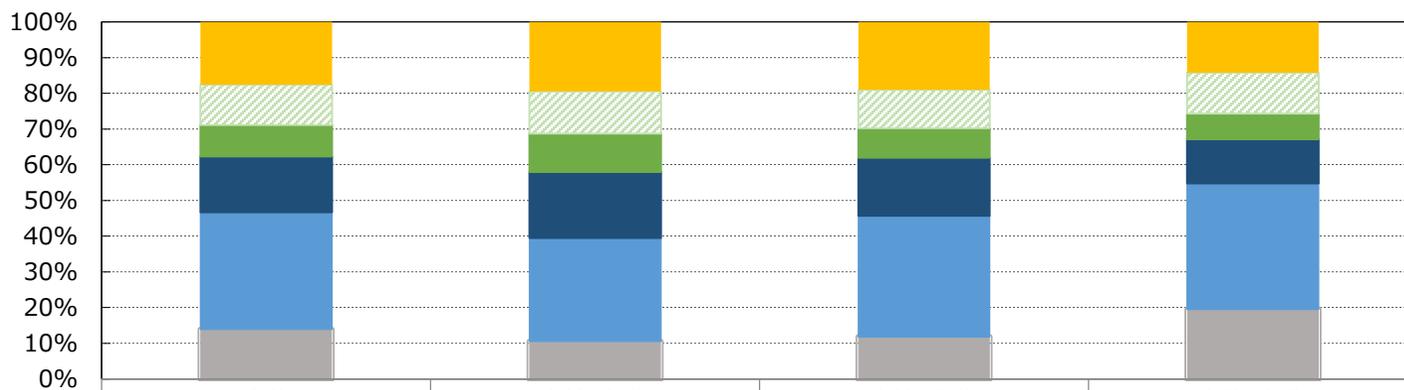
子どもと将来の進路や夢について話す機会があるかどうか聞いたところ、子どもの年次が上がるにつれて、「頻繁にある」の割合が増加している。全体の6%程度は、進路について話したことが無いと回答した。

お子様と進路や将来の夢(つきたい職業ややりたい仕事)について話すことはありますか。



子どもの将来の夢について「詳しく知っている」割合も、子どもの学年が上がるにつれ増加傾向にある。高校3年生の保護者にとっては、およそ55%が「（詳しく+だいたい）知っている」と回答した。

現在のお子様の将来の夢（やりたい仕事・つきたい職業等）に関する認識の状況

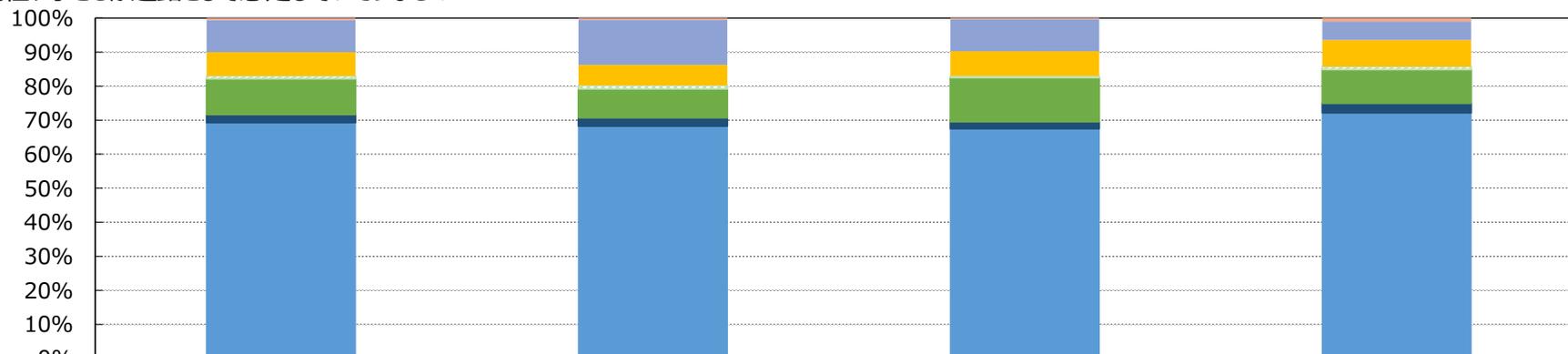


	全体	高校1年生	高校2年生	高校3年生
子ども自身が「将来の夢はまだわからない」と言っている	17.6%	19.5%	19.0%	14.2%
全くわからない	11.3%	11.8%	10.8%	11.5%
自信はないが、思いつくものはある	8.8%	10.8%	8.3%	7.2%
たぶんこれだろうという想定はしている	15.7%	18.5%	16.3%	12.3%
だいたい（分野だけ、など）知っている	32.8%	29.0%	34.0%	35.3%
詳しく知っている	13.9%	10.5%	11.8%	19.5%

■現在、子どもが進路として想定していそうだと思うもの

子どもが進路として想定していそうだと思うものについては、学年を問わず7割前後が「大学」と回答した。「わからない」の割合は、子どもの学年が上がるほど減少し、高校3年生の保護者に至っては5.5%と低い。就職を進路として想定していそうだと思う割合は、子どもの学年を通じて6-7%程度という結果が出た。

現在、子どもが進路として想定していそうなもの



	全体	高校1年生	高校2年生	高校3年生
■ その他	0.6%	0.5%	0.3%	1.0%
■ わからない	9.4%	13.3%	9.5%	5.5%
■ 就職	7.0%	6.0%	7.2%	7.8%
■ 上記以外の学校	0.8%	1.0%	0.5%	0.8%
■ 専門学校・専修学校	10.5%	8.5%	13.0%	10.0%
■ 短期大学	2.4%	2.5%	2.0%	2.8%
■ 大学	69.3%	68.3%	67.5%	72.3%

家庭での進路支援・ 学校選びに関する保護者の関わり

家庭での進路支援状況について、あてはまるものを聞いた。子どもの学年に関わらず「子どもの進路については、子どもの意志を尊重するが、親は意見を言う」が大勢を占めた。「進路選びについては、子どもに100%任せている」割合は全体で17.8%に留まり、8割以上の親が進路支援について意見を言っているという結果となった。

進路支援の状況

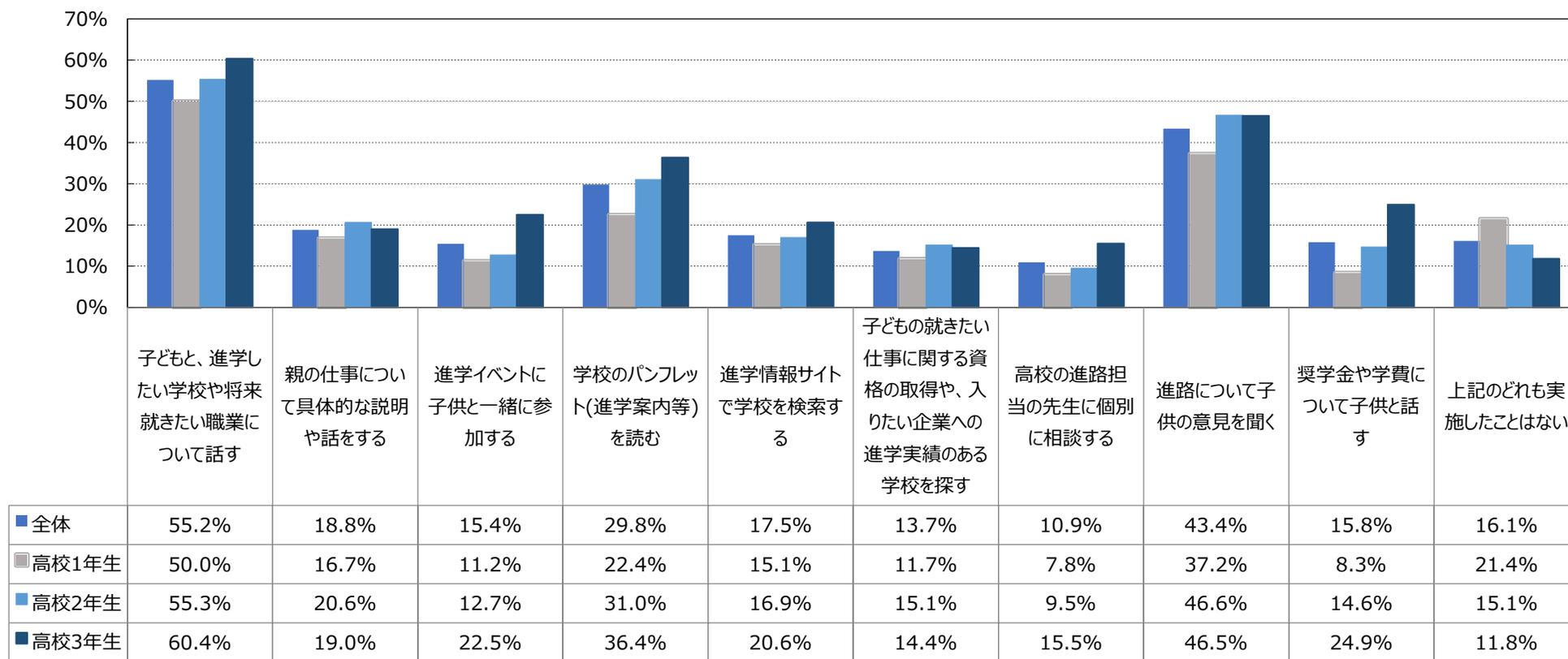
- 子どもの進路については、保護者(親)がすべて決定する
- 親の選んだ候補の中から、子どもが進みたい学校を進路を決める
- 子どもが選んだ候補の中から、親が最終的な決定をする
- 子どもの進路については、子どもの意志を尊重するが、親は意見を言う
- 進路選びについては、子どもに100%任せている



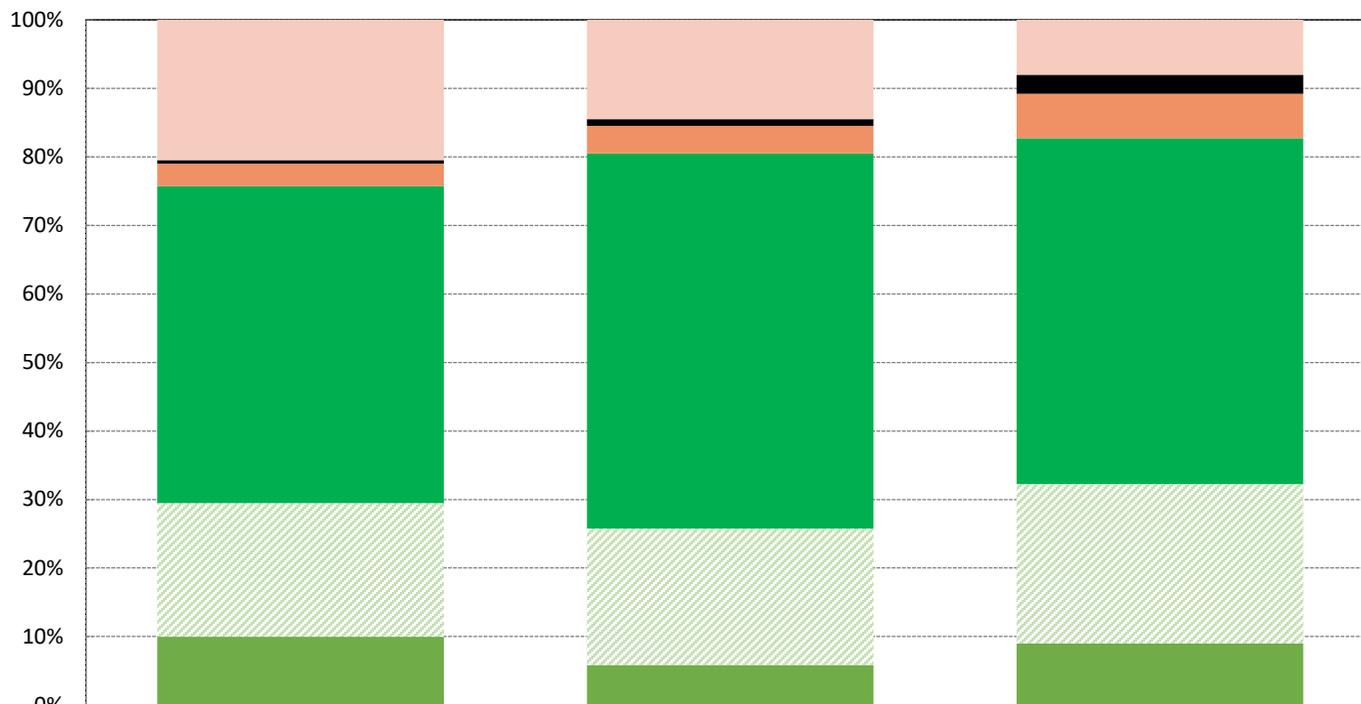
家庭でこれまでに実施したことがある進路支援に関して聞いたところ、最も選ばれたのは「子どもと進学したい学校や将来就きたい職業について話す」で、「進路について子どもの意見を聞く」「学校のパンフレット（進学案内等）を読む」が続いた。

保護者(配偶者様含む)のかかわり方としてこれまでに実施したことがあるもの

■全体 ■高校1年生 ■高校2年生 ■高校3年生



高校の進路指導に対する満足度

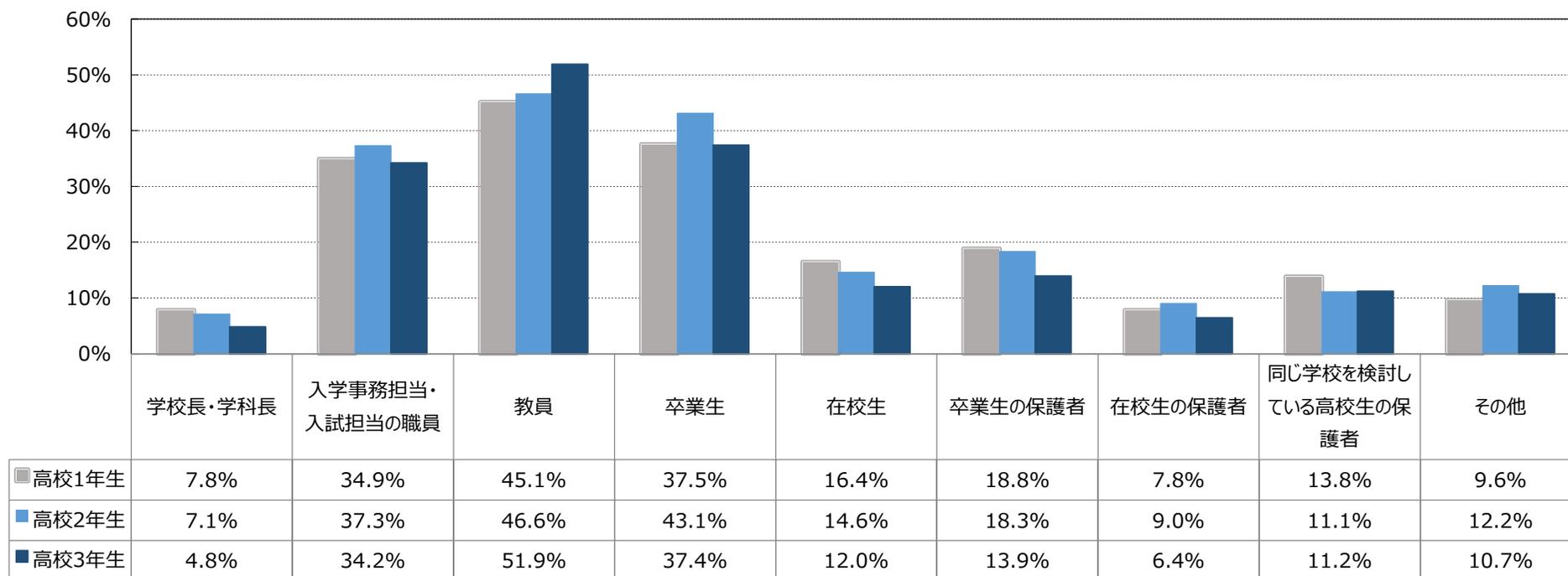


	高校1年生	高校2年生	高校3年生
高等学校での進路指導について、何をしているのかわからない(判断できない)	20.5%	14.5%	8.0%
大変不満	0.5%	1.0%	2.8%
やや不満	3.3%	4.0%	6.5%
普通だと思う	46.3%	54.8%	50.5%
やや満足	19.5%	20.0%	23.3%
大変満足	10.0%	5.8%	9.0%

子どもの進学検討時に話を聞いてみたい人（学校関係者）としては、子どもの学年を問わず「教員」が最も選ばれた。「卒業生」や「入学事務担当・入試担当の職員」が続き、「在校生」や「学校長」と回答した回答者は多くなかった。

話を聞いてみたい進学検討の学校関係者

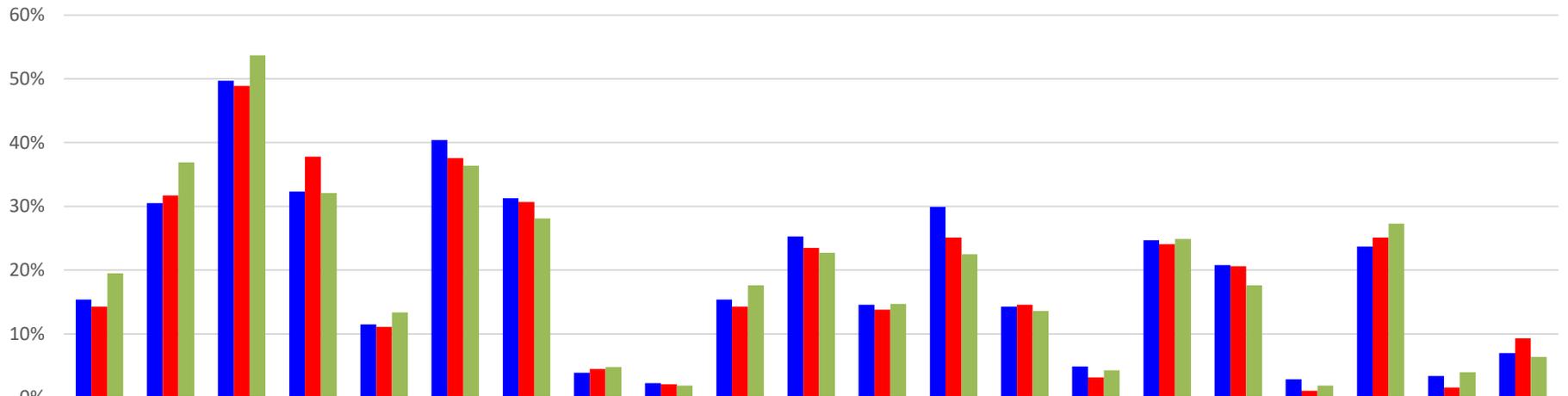
■ 高校1年生 ■ 高校2年生 ■ 高校3年生



■子どもの進学先学校を選ぶポイント

子どもの進学先学校を選ぶポイントとして複数選択で回答してもらったところ、「学べる内容」「子どもの学力との相性」「取れる資格」「学部名・学科名」などが多く選ばれた。「学校の種類（大学・短期大学・専修学校等）」と回答した割合は、子どもの学年を問わず15%に届かなかった。

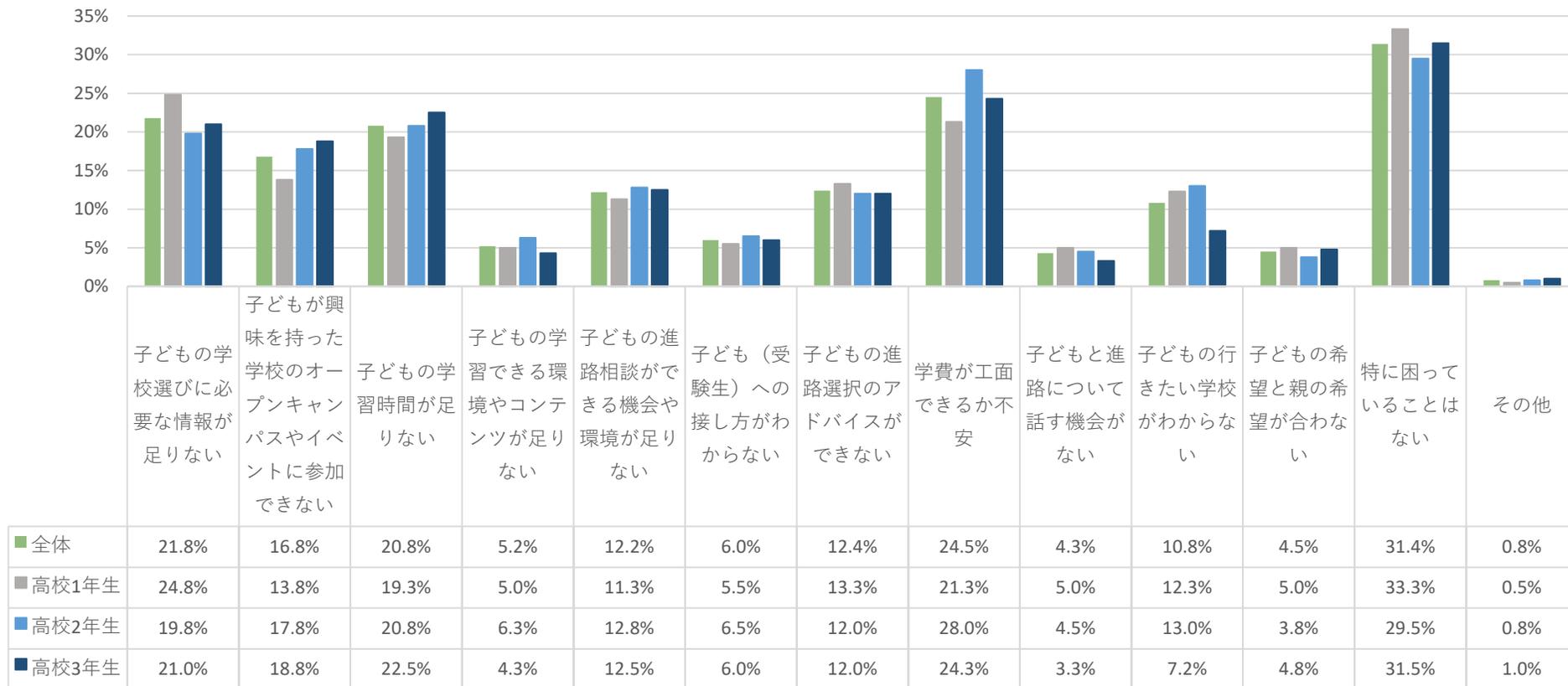
進学先選びのポイント



	知名度が高い	学部名・学科名	学べる内容	取れる資格	学校の建物や設備	子どもの学力との相性	学校の所在地(地元/治安のいい場所/都市部にある/など)	留学などの特別カリキュラム	パンフレットやHPの美しさ	入試方法	学校の分類(国立か公立か私立か)	学校の種類(大学か短期大学か専門学校か)	学費の安さ	奨学金制度	部活などの課外活動	就職率の高さ	在校生の雰囲気が子どもにあっている	学生数の多さ	実家からの距離	企業とのコラボレーション授業を行っている	その他
■ 高校1年生	15.4%	30.5%	49.7%	32.3%	11.5%	40.4%	31.3%	3.9%	2.3%	15.4%	25.3%	14.6%	29.9%	14.3%	4.9%	24.7%	20.8%	2.9%	23.7%	3.4%	7.0%
■ 高校2年生	14.3%	31.7%	48.9%	37.8%	11.1%	37.6%	30.7%	4.5%	2.1%	14.3%	23.5%	13.8%	25.1%	14.6%	3.2%	24.1%	20.6%	1.1%	25.1%	1.6%	9.3%
■ 高校3年生	19.5%	36.9%	53.7%	32.1%	13.4%	36.4%	28.1%	4.8%	1.9%	17.6%	22.7%	14.7%	22.5%	13.6%	4.3%	24.9%	17.6%	1.9%	27.3%	4.0%	6.4%

子どもの進路選択や学校選びについて困っていることや悩んでいることを保護者に聞いたところ、「特に困っていることはない」という回答が31.4%、次いで「学費が工面できるか不安」が24.5%となった。「特に困っていることはない」と回答した保護者を除いて集計すると、およそ3人に1人が「学費が工面できるか不安」と回答していることになる。

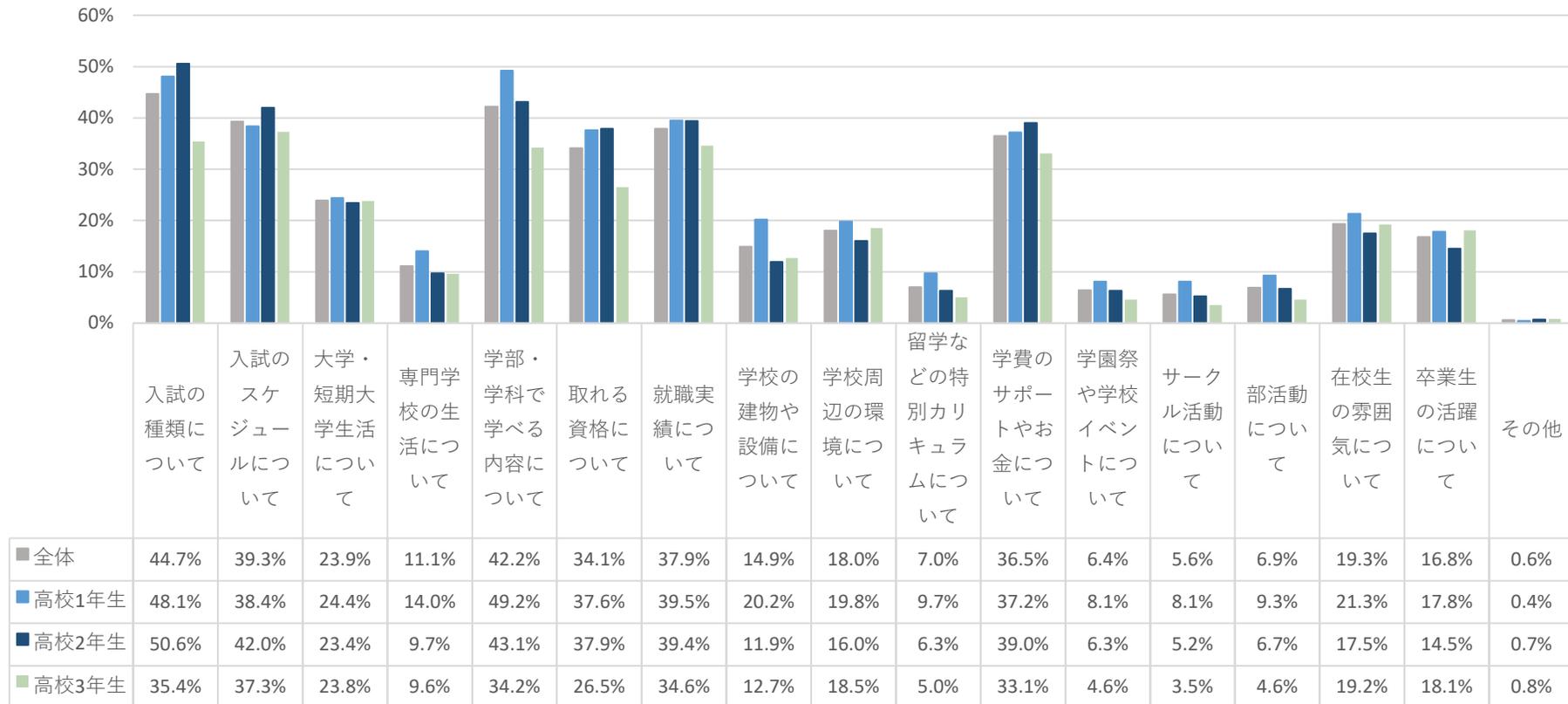
子どもの進路選択や学校選びについて困っていることや悩んでいること



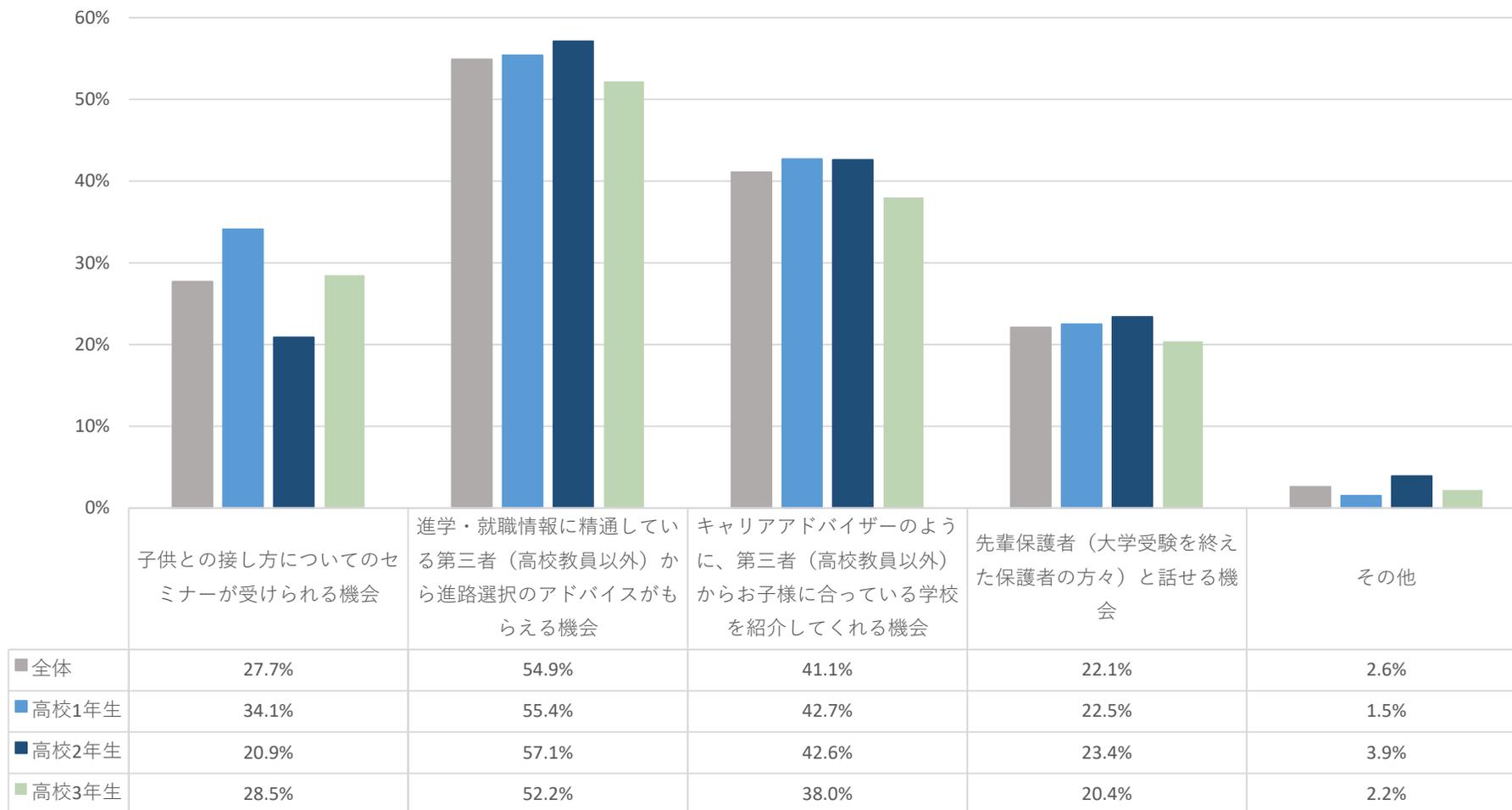
■ 子どもの進路選択・学校選びにあたってほしい情報

子どもの進路選択・学校選びについてどのような情報が欲しいかを聞いたところ、「入試の種類について（44.7%）」「学部・学科で学べる内容について（42.2%）」の割合が高かった。その他にも、各学年の保護者の3割以上が「就職実績について（37.9%）」や「学費のサポートやお金について（36.5%）」などの情報が欲しいと回答しており、受験・入試に関する情報以外にも、在学中に発生する学費や卒業後の就職状況といった、勉学以外の事項も進路選択の上でポイントになっていることがわかる。

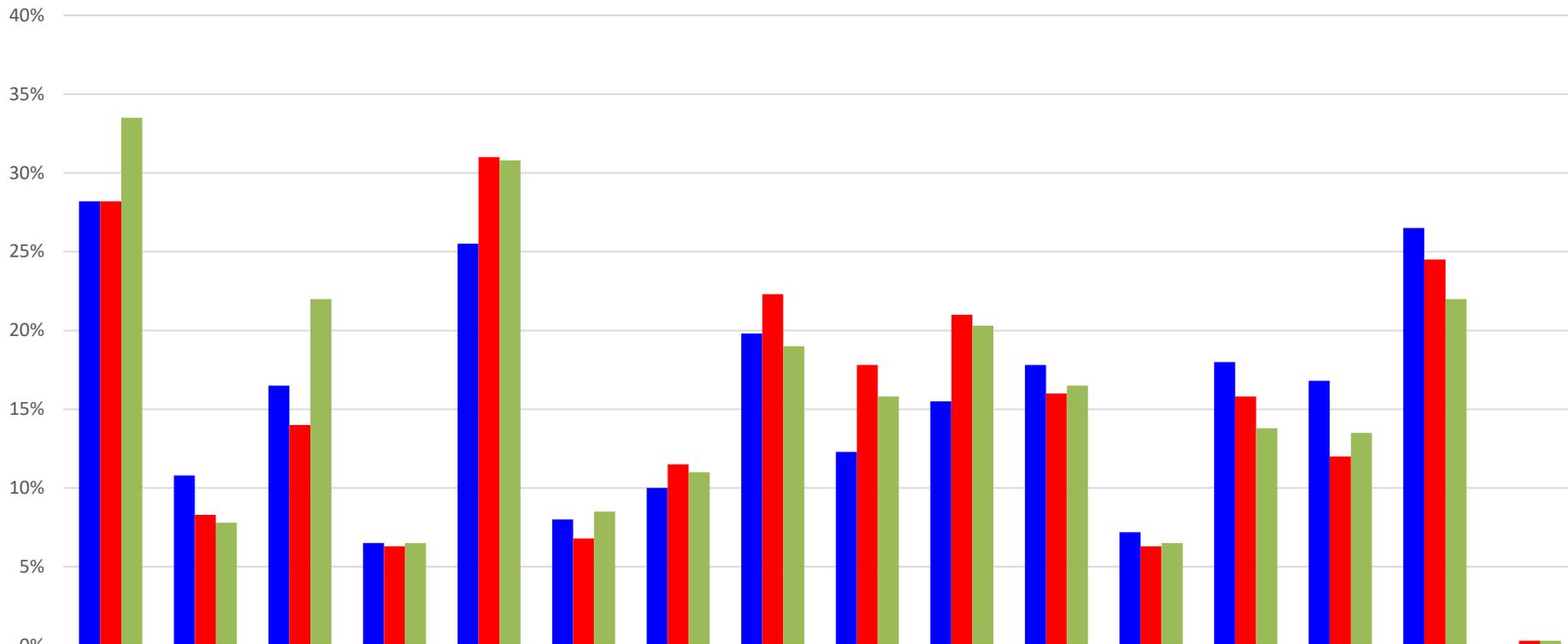
子どもの進路選択・学校選びについて、どんな情報が欲しいか



子どもの進路選択・学校選びについて、欲しい機会



進路支援として「取り組んでいる」もしくは「取り組む予定であること」



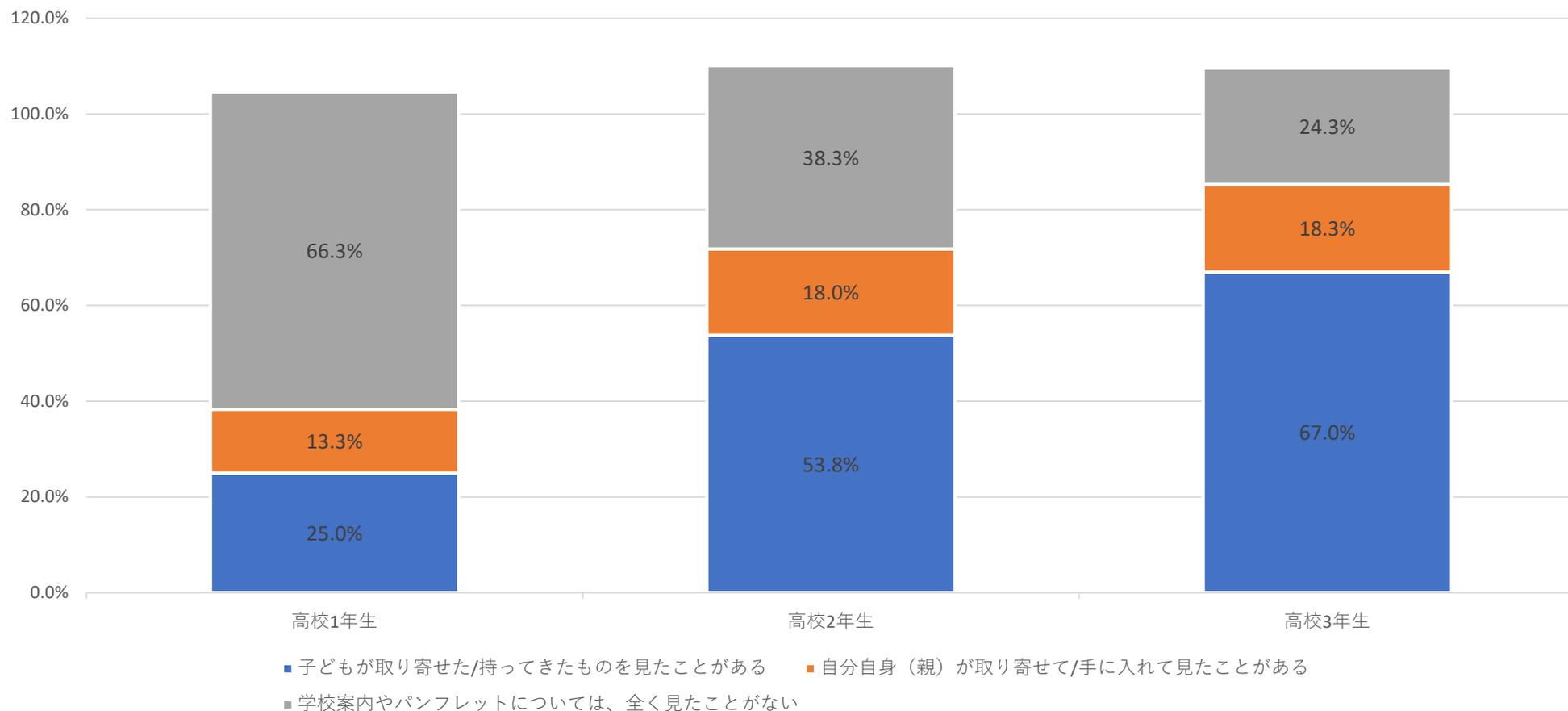
	塾に通う・家庭教師をつける	通信教育を導入	参考書等書籍の購入	上記以外の成績向上に関する支援	お子様の希望する進学先について聞く	ご自身がお子様に進んでほしい進路(学校名)を伝える	進学先選びにあたっての条件(エリアや学費等)を伝える	将来就く職業について話し合う	大学案内や入試要項を取り寄せる	オープンキャンパスや入学体験に参加する	高校教員の話聞く(面談をする)	知人と情報交換	やりたいこと(夢)を見つけさせる	様々な経験/体験をさせる	特に何も実施していない/する予定はない	上記以外
■ 高校1年生	28.2%	10.8%	16.5%	6.5%	25.5%	8.0%	10.0%	19.8%	12.3%	15.5%	17.8%	7.2%	18.0%	16.8%	26.5%	0
■ 高校2年生	28.2%	8.3%	14.0%	6.3%	31.0%	6.8%	11.5%	22.3%	17.8%	21.0%	16.0%	6.3%	15.8%	12.0%	24.5%	0.3%
■ 高校3年生	33.5%	7.8%	22.0%	6.5%	30.8%	8.5%	11.0%	19.0%	15.8%	20.3%	16.5%	6.5%	13.8%	13.5%	22.0%	0.3%

情報収集について

■子どもが取り寄せた上級学校（大学短大専門等）の紙冊子【学校案内等】の閲覧状況

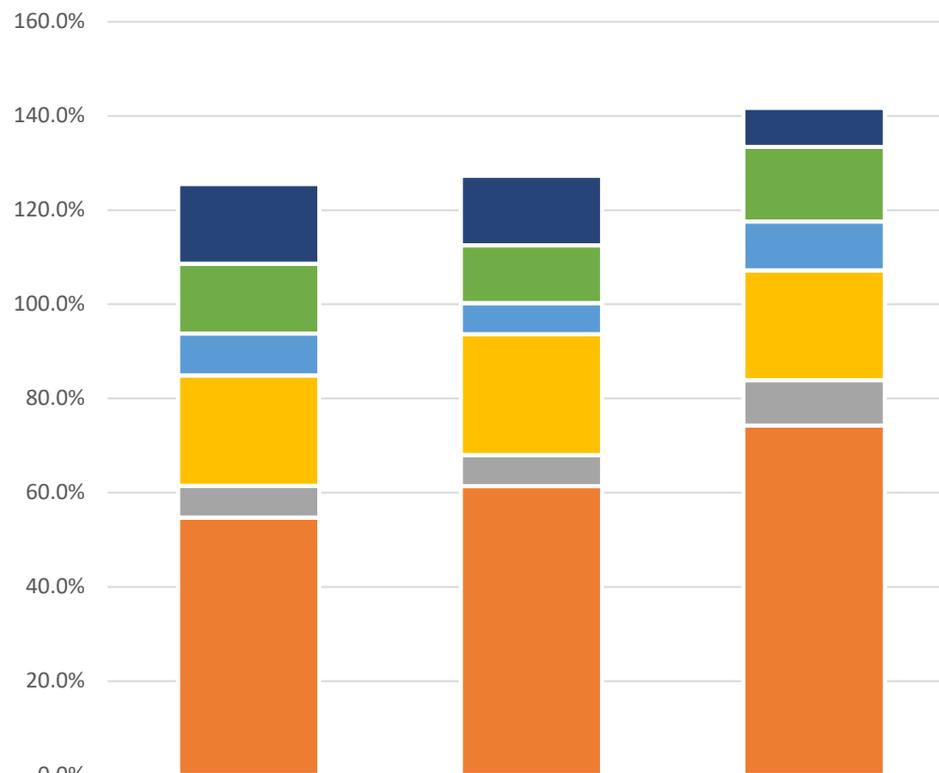
高校1年生の夏前時点（調査は7月中旬）で3人に一人程度の保護者が既に上級学校の学校案内等の閲覧経験があり、高校3年生になると、4人に三人程度の保護者が閲覧していることが分かった。

学校案内等の閲覧状況（各学年の保護者各400名）



■子どもの進学先候補として、上級学校（大学短大専門等）のWEB情報（学校ホームページやSNSでの投稿等）の閲覧状況

WEB情報の閲覧状況（各学年400名）



その他の内容

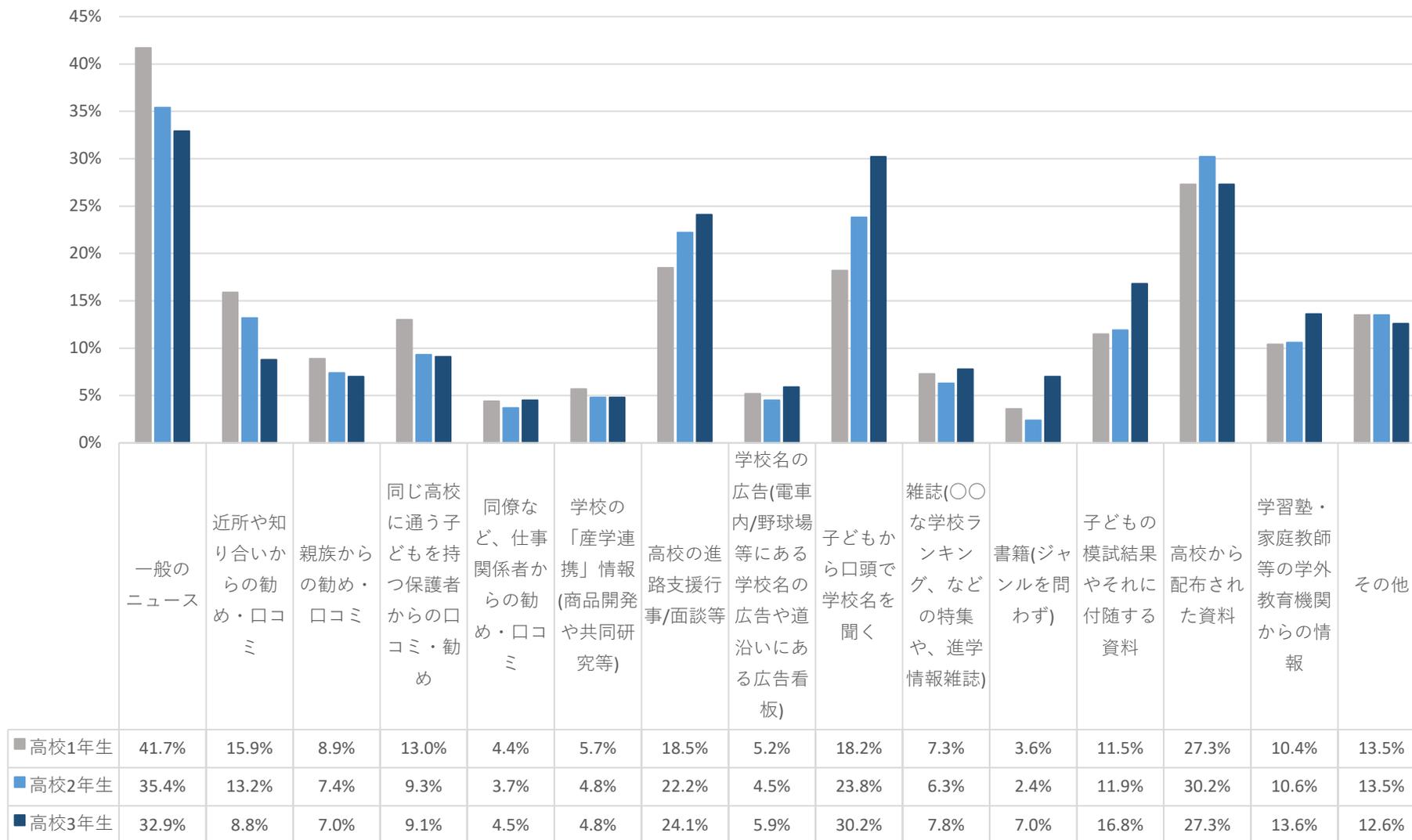
- ・まだ調べたことがない
- ・閲覧したことが無い
- ・内部進学であるためない

等、

「閲覧したことが無い」という趣旨の回答がほとんどでした。

■ その他	16.9%	14.8%	8.3%
■ インターネット上の口コミ	14.8%	12.2%	15.8%
■ 学習塾のサイト	8.9%	6.6%	10.4%
■ 進学情報サイト（学校が検索できるサイト）	23.4%	25.7%	23.3%
■ 学校の公式SNS（TwitterやInstagram等）	6.8%	6.6%	9.6%
■ 学校の公式ホームページ	54.7%	61.4%	74.3%

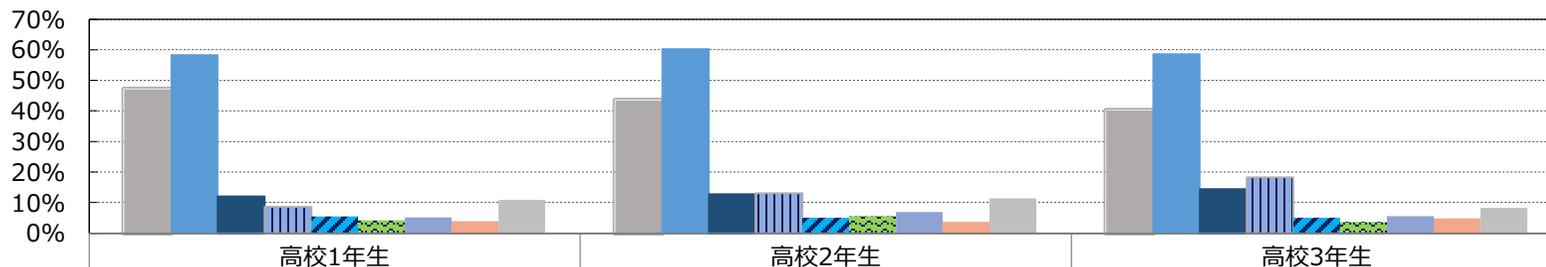
子どもの進学先候補について情報収集や学校名を新たに知る機会



教育資金について

子どもの教育資金の準備予定としては「学資保険」「自己資金」がその多くを占めたが、高校3年生の保護者はそれ以外の分類と比較して「奨学金（貸与型）」を想定している割合が高い。「子ども自身がアルバイトで稼いだお金」と回答した割合は、学年を通じて3-5%程度と高くないが、一定数存在する。

教育資金の準備予定

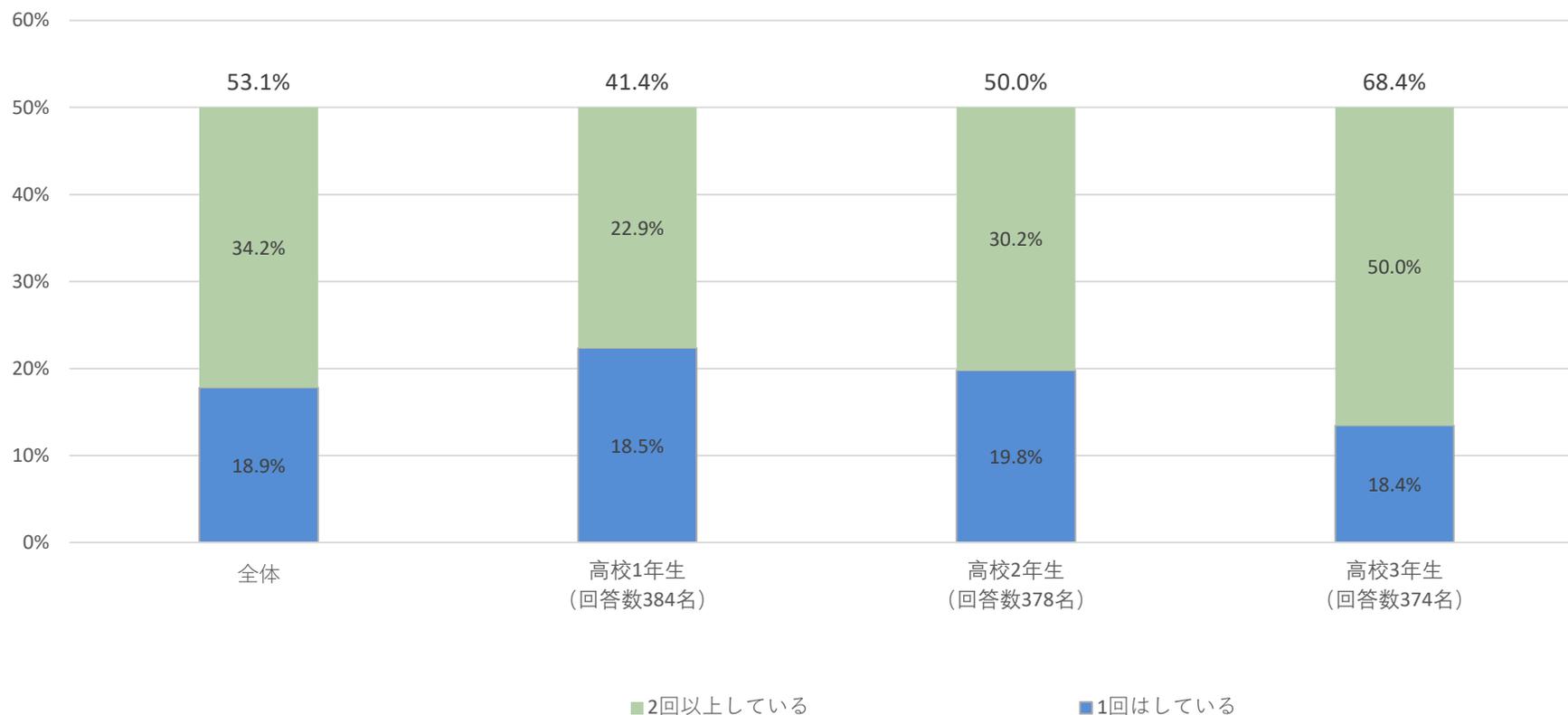


	高校1年生	高校2年生	高校3年生
■学資保険	47.1%	43.4%	40.1%
■自己資金（預金等）	58.3%	60.3%	58.6%
■奨学金（給付型）	12.0%	12.7%	14.4%
■奨学金（貸与型）	8.6%	13.0%	18.2%
■教育ローン（国）	5.5%	5.0%	5.1%
■教育ローン（民間）	4.2%	5.6%	3.7%
■祖父母からの支援	5.2%	6.9%	5.6%
■子ども自身がアルバイト等で稼いだお金	3.9%	3.7%	4.8%
■その他	10.9%	11.4%	8.3%

■ 子どもと進学先の学費についてこれまでに話をした機会の有無

これまでに子どもと進学先の学費について話をしたことがあるか聞いたところ、高校1年生の保護者は約4割、高校2年生の保護者は5割、高校3年生の保護者は約7割近くがあると回答した。受験を見据え、進学した場合の学費についても親子で話し合う機会を持つ家庭が多いようだ。

子どもと進学先の学費についてこれまでに話をした機会が1回以上ある保護者の割合（子どもの学年別）



■具体的な話の内容（前問で「子どもと進学先の学費について話をしたことがある」と回答した方のみに聴取）

